

令和2年度SIP第2期課題評価結果への対応について

令和3年2月25日
ガバニングボード決定

令和3年度SIP第2期課題評価結果に基づく令和3年度予算配分のメリハリ付けと併せて、各課題(プログラム)に係る指摘事項に対する所要の見直し及び改善を徹底するため、以下の措置を行うこととする。

. 対応方針

1. 今般の課題評価で「A-」を受けた「IoT社会に対応したサイバー・フィジカル・セキュリティ」については、指摘事項の確実な改善に向けたインセンティブを図るため、さらに10%の予算を留保するものとする。その上で、本年5月中下旬に、当該評価結果の指摘事項への改善状況について臨時課題評価WGにて審議し、改善の取組が進んでいると認められた時点で、原則、残りの予算を配分する。なお、残りの予算が配分されない場合には、当該未配分予算は、SIP全体の追加配分財源に充てることとする。
2. 今般の課題評価で「A」を受けた課題のうち、過年度中に配分された追加配分の継続配分要望があり、課題評価WGにおいて説明した結果、重要な取組のため追加配分を継続すべきと指摘のあった「国家レジリエンス(防災・減災)の強化」及び「革新的深海資源調査技術」については、これまでの追加配分の継続として、それぞれ、4.31億円、3億円を当初予算に追加して配分することとする。
3. また、評価結果に関わらず全ての課題(プログラム)は、令和2年度課題評価の指摘事項への改善方針について、本年夏頃までにプログラム統括(課題評価WG座長)へ報告することとする。

. その他

1. 令和3年度当初配分時点で未配分の予算は、本年5月中下旬に開催予定の臨時課題評価WGにて追加配分することが適当であるか否かの審査を行い、最終的にガバニングボードにて追加配分の適否及び金額について決定する。
2. 上記 . 及び . にかかわらず、すべての課題(プログラム)において、今

回指摘された事項について次年度の評価（令和3年度課題評価）時点でもなお改善が見られない場合には、当該評価結果を無条件で1ランク以上降格（例えば、評価WGの評価が「A」と集計された場合、「A-」以下に無条件に降格）する。

（参考）課題評価結果

国家レジリエンス（防災・減災）の強化の総合評価結果

激甚化する水害対策や新型コロナウイルス感染症下での防災に関する研究開発を引き続き実施するため、これまで追加配分した予算を来年度以降も配分すべきである。

革新的深海資源調査技術の総合評価結果

様々な海洋開発にとって必要であり、国際標準化の議論も進展している深海での環境影響評価手法に関する研究開発を引き続き実施するため、これまで追加配分した予算を来年度も配分すべきである。

以 上

今後の主な審議日程等（暫定版）

【2020年度】

2021年1月18日、20日、22日、25日、2月1日 課題評価WG（開催済）

2021年2月25日 ガバニングボード

（ 2021年2月25日：評価結果に基づき、2021年度予算配分額を最終決定）

【2021年度】

2021年5月中下旬 （臨時）課題評価WG

（ 「IoT社会に対応したサイバー・フィジカル・セキュリティ」再評価・追加配分評価）

2021年6月中下旬 ガバニングボード

（ 上記評価結果に基づき、再評価・残額を追加配分決定）

2021年6月～10月 研究拠点等現地視察

・ 全12課題の現地視察を実施

（ 2021年9月：2021年度の評価方法等について決定。）

2021年11月～12月 PDによる自己評価及び

管理法人におけるピアレビューの実施

2022年1月中下旬 課題評価WG（4～5回程度開催）

・ 各課題（プログラム）の年度末評価

2022年2月中下旬 ガバニングボード

・ 2021年度評価結果決定